

徳島県立川島中学校・高等学校
令和3年度 学校評価結果

保護者の皆様には、日ごろより本校教育にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では令和3年度当初に作成しました「学校評価計画」に基づき、教育活動を進めてまいりましたが、このたび、その評価結果をまとめましたので、ご報告いたします。

評価にあたりましては、皆様にも1月に実施しました「学校生活評価アンケート」などを通じ、多くの貴重なご意見ご感想をお寄せいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果は2月にとりまとめ、全教職員で検討し、関係者評価委員会を経て、教育活動の課題などを明らかにするとともに、令和4年度の学校運営、教育方針、重点課題の設定などに活用いたしております。

今後とも、こうした学校評価結果を踏まえ、教育活動の充実・発展に努めますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年度 中学校 重点課題の総合評価（3段階評定）

重点課題	評定	令和4年度に向けて
1 中高一貫教育の推進	B	○中高一貫校の特性を生かし、中高合同の行事などを多く実施することで社会性の育成を進める ○数学の先取り学習やスペシャルアプローチの授業を継続するとともに、6年間の計画的・継続的な教育の実践を進め、中高の一貫性を促進する。
2 確かな学力の充実と指導力の向上	B	○至誠ノートの提出率を向上させ家庭で計画的に学習に取り組ませる。 ○ICTを活用した、主体的・対話的で深い学びのある授業実践に努める。
3 生徒の能力・適性に 応じた進路の実現	B	○将来の進路につながるキャリア教育を実施し、発達段階に応じた体験活動を取り入れる。 ○併設高校に在籍する高校生と語り合う機会やともに活動する機会を今後も継続して設ける。
4 基本的生活習慣の確立を 図る生徒指導の徹底	B	○挨拶の励行については、登下校時の呼びかけを継続し、生徒自ら挨拶できる習慣を身につけさせる。 ○定期的に面談やアンケートを実施し、生徒の生活状況等を把握することで、生徒理解を深める。
5 人権尊重の精神の涵養を 図る人権教育の推進	B	○人間関係を築く能力やコミュニケーション能力を培うために体験的参加型学習を多く取り入れ、学んだことが態度化・行動化につなげられるよう工夫していく。 ○教職員研修を充実させ、教職員の人権意識向上や指導の向上を図る。
6 心身ともに健康な生徒を 育てる特別活動の充実	B	○学校行事や生徒会活動、学級活動の目的を再度見直し、さらに充実した学校生活を生徒が送れるよう不断の改善を図っていく。
7 環境教育及び国際理解教育の 推進	A	○「新学校版環境ISO」についての理解を深め行動に移せるよう、活動内容の工夫を図る。 ○ICTを活用して、状況に応じた国際交流事業を積極的に実践していく。
8 開かれた学校づくりと 安全教育の推進	A	○ホームページやメール発信等を適切に活用し、学校の情報を発信する。 ○防災学習をカリキュラムの中に適切に位置づけ、より効果的な学習を進める。

「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

令和3年度 高等学校 重点課題の総合評価（3段階評定）

重点課題	評定	令和4年度に向けて
1 中高一貫教育の推進	B	○中高連携の一層の促進に努め、学習指導・進路指導、特別活動等の充実をめざす。文化祭や体育祭等において異年齢集団における交流を深め充実させる。 ○6年間の計画的・継続的な教育を図るため研究授業や中高の授業見学会や教科会を充実させ、実践に努める。
2 確かな学力の充実と指導力の向上	B	○全学年・全教科ですべての生徒にとって「分かりやすい授業」を実現するために、ICT機器を活用した学習活動を実施する。また、手帳(スノード)を有効利用することで家庭学習の習慣づけをめざす。 ○各教科で学力・学習状況についての目標・方策を設定し、学習支援体制の改善に努める。また、校外模試や課題テストの結果分析を行い、教科指導に反映させていく。
3 生徒の能力・適性に 応じた進路の実現	B	○補習や進路行事のあり方を検討し、幅広い進路希望に対応できる多様な進路指導プログラムを準備・検討する。 ○PTA年次集会や3者面談の機会を捉えて、最新の進路情報の提供を行うとともに、保護者のより一層の理解促進を図り、学校と家庭の協力体制を築く。
4 基本的生活習慣の確立を 図る生徒指導の徹底	B	○生徒の心身の健康と安全に対する自覚を促し、基本的生活習慣を身につけさせる効果的な指導を継続して行う。 ○定期的に面談やアンケートを実施し生徒個人の生活実態を把握する。生徒指導・教育相談体制を整え、迅速・丁寧な対応に努める。
5 人権尊重の精神の涵養を 図る人権教育の推進	B	○人権の日の放送やホームルーム活動、講演会等において「個別課題」や「道徳的内容」を取りあげ、「知る」ことの大切さや身近な人権について考えを深め、人権問題を解決するための実践力を高める取り組みに努める。
6 心身ともに健康な生徒を 育てる特別活動の充実	B	○生徒会役員による主体的な生徒会活動の実施をサポートする。また、生徒の意見を積極的にとりあげ、生徒会活動や学校行事に反映させる。 ○特別活動を通じて主体性ある生徒の育成に努める。
7 環境教育及び国際理解教育の 推進	B	○「新学校版環境ISO」についての理解を深め、学校全体で節電・節水・ゴミ分別に意欲的に取り組めるように努める。 ○地域社会との連携を目指し、「レッツクリーン」活動をはじめ、日常の環境美化活動に率先して取り組む生徒の育成に努める。 ○国際化に対応した人材を育成するために、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の習得を目指す授業改善を行っていく。 ○県内で可能な国際交流やオンラインでのセミナー等に参加することで、海外に目を向けて広い視野と語学力を持った生徒を育てる。
8 開かれた学校づくりと 安全教育の推進	B	○ホームページの更新頻度を増やし、川島高等学校の取り組みや成果の広報に努める。 ○学校内外で防災教育や防災クラブの活動をより充実させ、全校生徒に地域防災・減災を担う人材としての自覚をもたせる。

「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

徳島県立川島中学校・高等学校

〒 779-3303
 徳島県吉野川市川島町桑村367番地3
 TEL 0883-25-2835 (中) 0883-25-2824 (高)
 FAX 0883-25-5340

ホームページURL <http://kawashima-hs.tokushima-ec.ed.jp/>
 メールアドレス kawashima_hs@mt.tokushima-ec.ed.jp